

西尾市の 多文化共生教育体制 について

～多文化ルーム **KIBOU** (きぼう)
の取組～

西尾市教育委員会事務局

▲西尾市の離島・佐久島のイーストハウス（体験型アート作品）

はじめに西尾市の現在

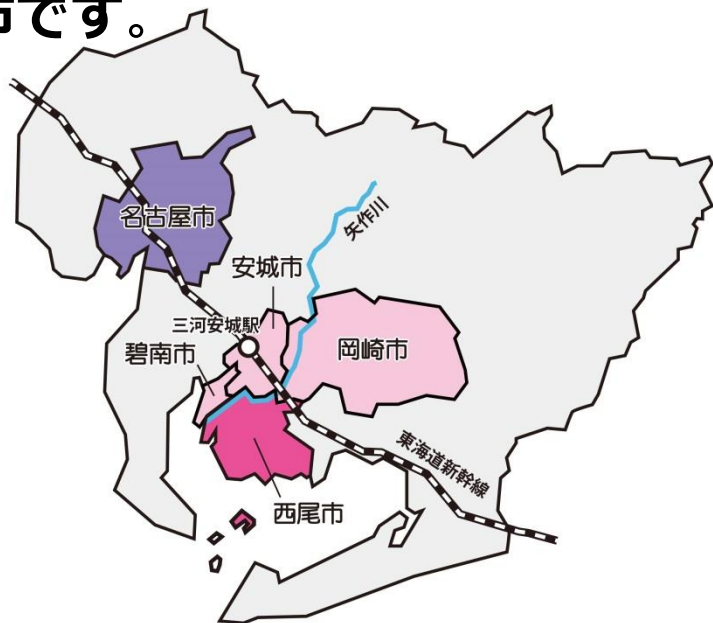


⇒市章：結び井桁。旧西尾城主大給松平氏の道中目印として使用していたものと伝えられ、整然とした市街と市民の団結を象徴



西尾市のゆるキャラ「まーちゃ」

■西尾市は、愛知県のほぼ中央を北から南へ流れる矢作川流域の南端（西三河南部）に位置し、面積は**161.22km²**で、県全体の約3.1%を占めています。人口は**171,029人**（R3.8.1現在）で、西三河南部の中核的都市です。



三河湾から望む西尾市全景

■中部圏の中心である**名古屋市**の**45km圏域**にあり、東は蒲郡市、幸田町、北は岡崎市、安城市、西は碧南市と接し、南は三河湾に面しています。平成23（2011）年4月1日に幡豆郡三町（一色町・吉良町・幡豆町）と合併しました。



▲その年の豊凶を占う勇壮な鳥羽の火祭り

■西尾市は、西尾藩六万石城下町の風情や元禄事件（忠臣蔵）で有名な吉良家の菩提寺など名所・旧跡が多くあり、一色の大提灯や鳥羽の火祭りなど伝統的な祭りや芸能が伝承されています。



■西に実り多き大地を育む矢作川が流れ、東に緑深き三ヶ根山などが連なり、南に風光明媚な三河湾を臨む、海、山、川の豊かな自然に恵まれた西尾市は、日本経済を支える自動車関連産業の集積地であると共に、全国有数の生産量を誇るてん茶やウナギ養殖をはじめ、洋ランやカーネーション栽培、アサリなどの魅力あふれる地域資源を有しています。



▲全国有数のてん茶（抹茶の原料）生産量を誇る茶畑

■西尾市の目指すべき将来都市像は、
「**自然と文化と人々がとけあい**
心豊かに暮らせるまち 西尾」

「**活力・創造**」「**安心・便利**」「**自立・協働**」
の3つの考え方を結びつけて、つなぎ合わせる
「**融和**」をまちづくりを進めるための基本理念
に定めています。

各学校とカラフルと多文化ルームKIBOUの連携をこれまで以上に強化し、**外国にルーツを持つ子どもの小・中学校への不~~就~~学率ゼロ、全日制高校への進学率向上**に取り組みます。

(広報にしお令和2年6月号掲載の
市長コラムから抜粋)



元禄事件（忠臣蔵）の敵役、吉良上野介義央は
地元吉良では赤馬に乗った名君として慕われた

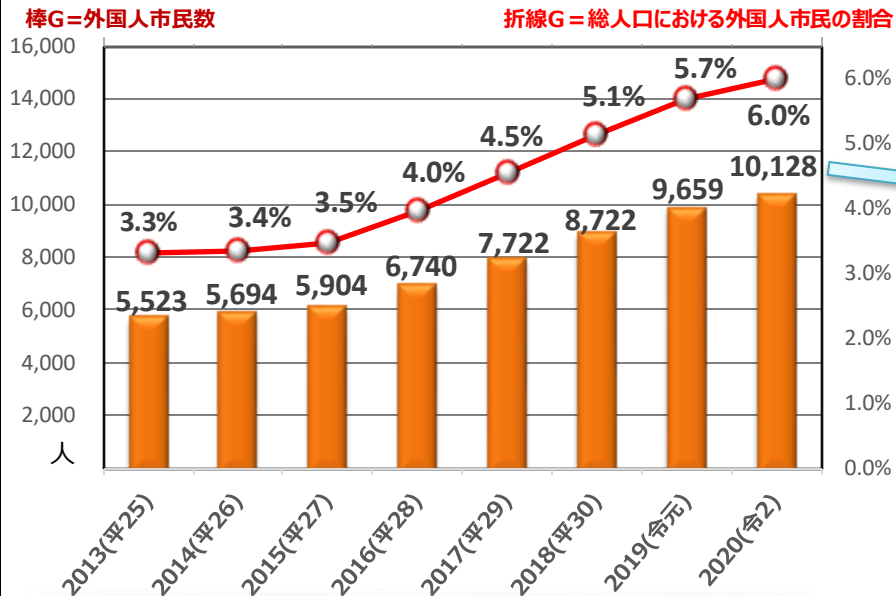
■西尾市の財政規模：R2決算（R元）

- 一般会計 歳入**803**億円（584億円）
歳出**767**億円（553億円）
- 財政力指数 3か年平均**0.984**（0.983）
- 経常収支比率 **86.8%**（84.9%）
- 市債残高 **305**億円（302億円）
- 積立金残高 **95**億円（91億円）
- 特別会計（**4**） 企業会計（**4**）
- 職員数 **1,683**人（特会・企会・消防含む）

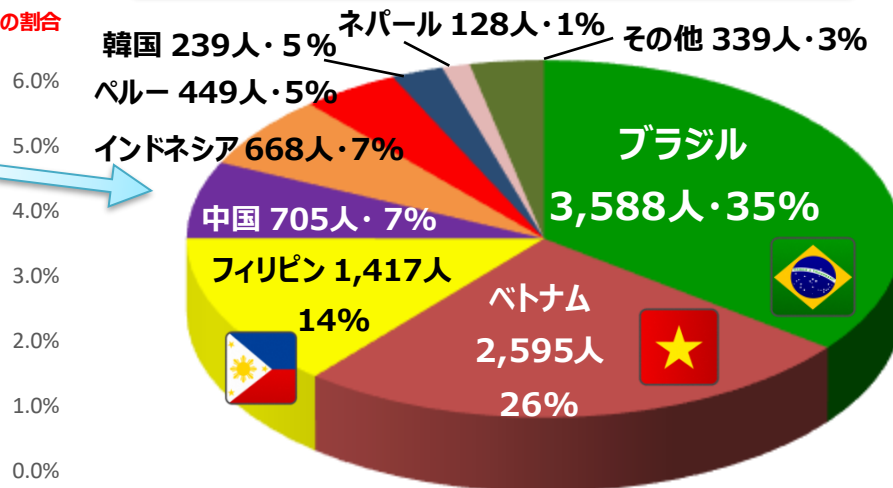
西尾市の外国人市民数の現状



外国人市民数の動き (各年4月1日現在)



国籍別外国人市民数 (R2.4.1現在)



愛知県内の外国人住民比率

順位	市町村	割合	外国人住民数 (2019/12/31)	総人口 (2020/1/1)
1	飛島村	8.57%	397人	4,630人
2	高浜市	8.57%	4,178人	48,758人
3	碧南市	7.73%	5,636人	72,936人
4	知立市	7.66%	5,506人	71,870人
5	小牧市	6.92%	10,288人	148,760人
6	西尾市	6.16%	10,470人	169,914人
7	岩倉市	5.82%	2,790人	47,964人

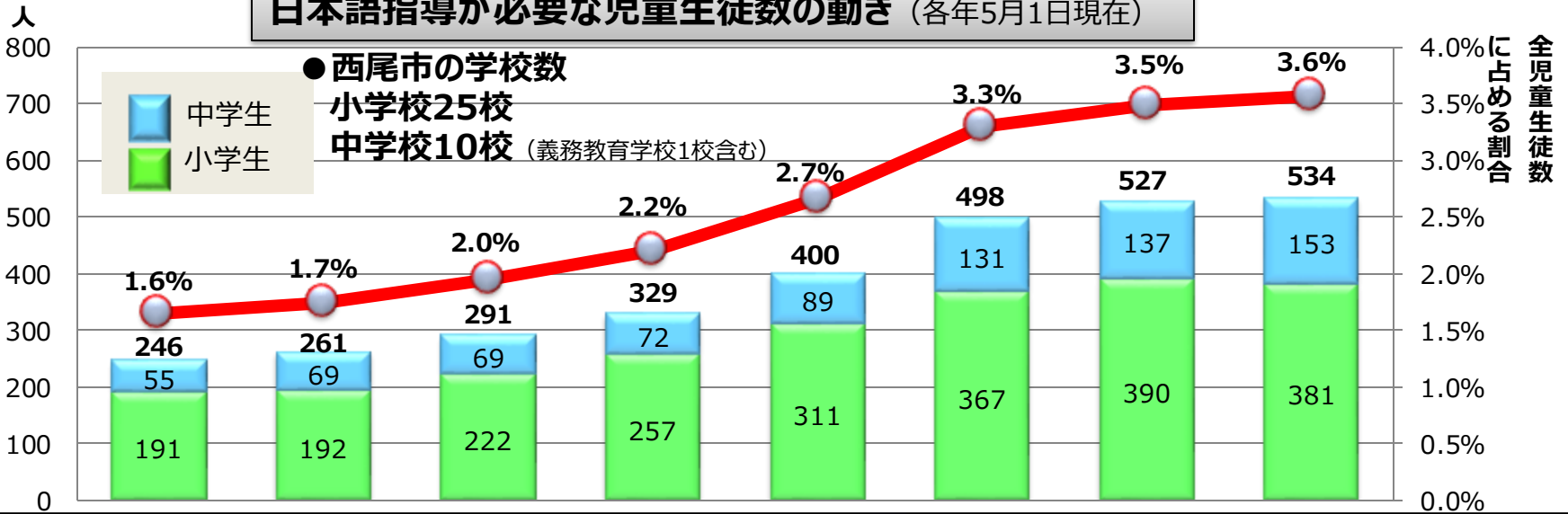
※外国人住民数は法務省の在留外国人統計より



西尾市の外国にルーツをもつ児童生徒数



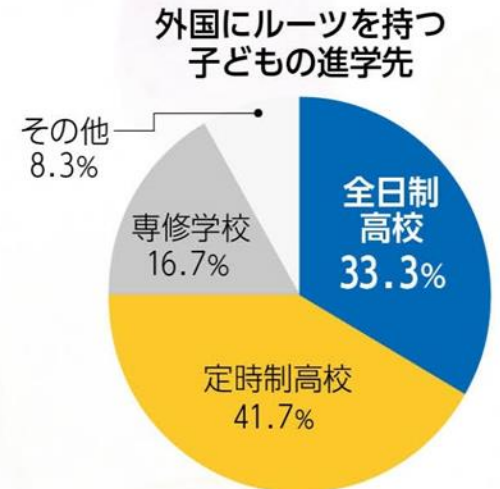
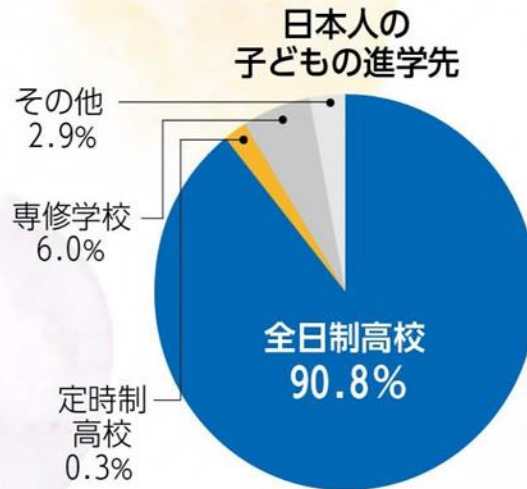
日本語指導が必要な児童生徒数の動き (各年5月1日現在)



外国にルーツを持つ中学3年生の進学状況

全日制高校への進学は日本人の3分の1

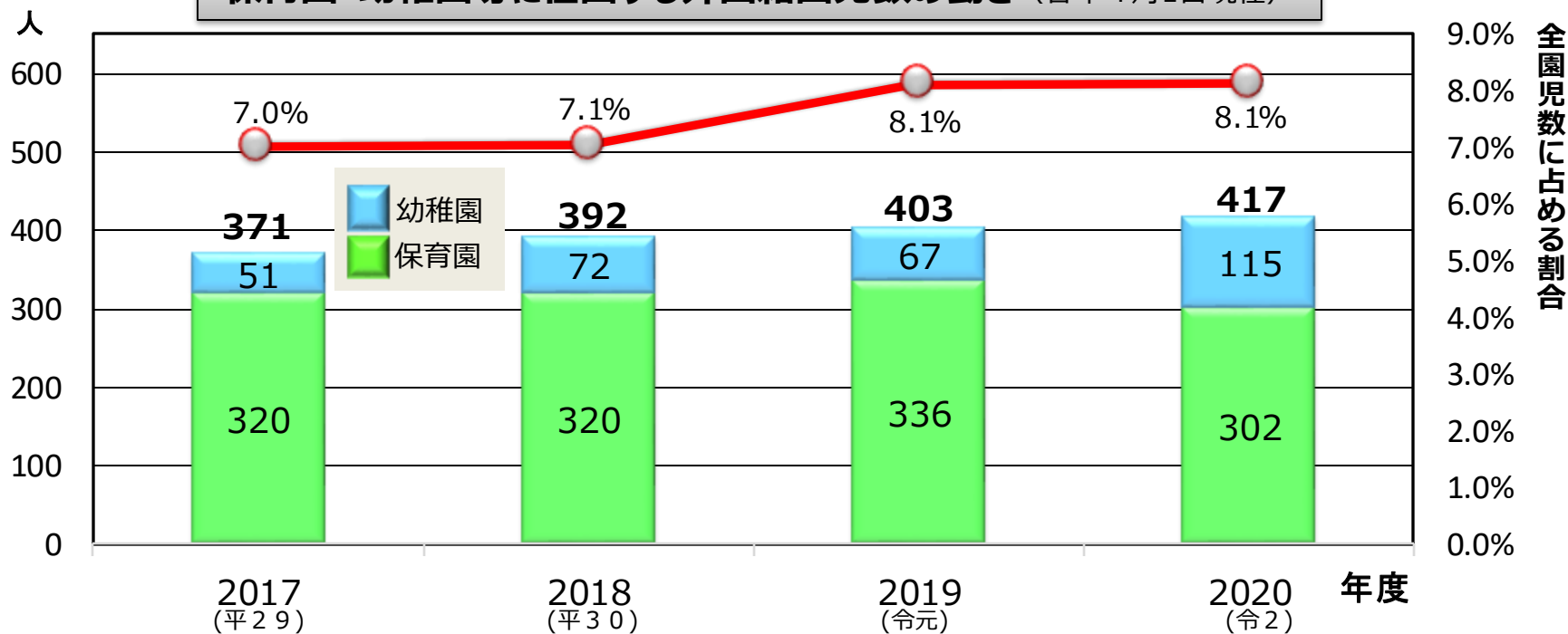
右のグラフは、市内のある中学校の令和元年度の進学状況を示したものです。外国にルーツを持つ子どもは希望した高校への進学が難しく、全日制高校への進学率は日本人の子どもの約3分の1です。市教育委員会では、彼らが学びの機会を得られるよう、「不就学ゼロ」とともに「希望する全日制高校への進学率の向上」を目指し、学校・地域・家庭・関係機関が協力してさまざまな取り組みを進めていきます。



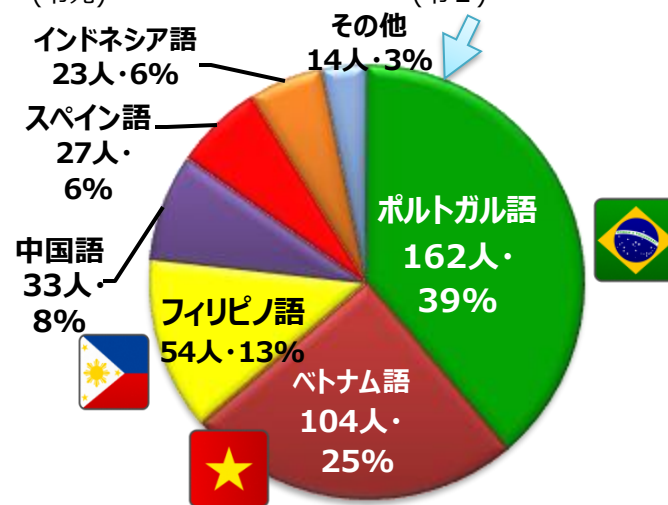
西尾市の外国籍園児(0歳～5歳)数



保育園・幼稚園等に在園する外国籍園児数の動き (各年4月1日現在)



- 西尾市の園数
- 公立保育園25園
- 私立保育園9園
- 公立幼稚園3園
- 認定こども園2園 (令2～)
- ※私立幼稚園2園は除く



話は**14年前、平成19（2007）年**から始まります。

①当時の西尾市は**合併前**で人口107,064人のうち5,322人（約**5.0%**）が**外国人**市民でした。
②市内の公立保育園（16園）・公立幼稚園（3園）の園児約**120人（約3%）**が**外国籍**で、その多くが日系ブラジル人（ポルトガル語）だったため、保育園・幼稚園を所管する**教育委員会事務局子ども課**では、**ポルトガル語通訳者**を公立保育園に1人、子ども課窓口にも1人配置して、**園だより等の翻訳・保護者の通訳**に対応していました。



③**子ども課**では、ニューカマーと呼ばれる「出稼ぎ」来日した南米日系人の多くが、就労優先の生活を送るため、市や人材派遣会社の通訳サポートに対する依存性が強く、言葉・習慣等の壁を乗り越えていく姿勢が希薄なことから、**外国人児童の子育て環境**について次のような点に危惧を抱いていました。

- ✖ 外国人保護者の仕事最優先の不安定な生活により、**外国人児童が十分に成長発達するための言語力を母語でも日本語でも身につけることが難しい**ことから、義務教育対象として位置づけられていない**日本の学校生活における適応や定着が難しい（差別的待遇）**と思われること。日本人でも**小1プロブレム**が問題視。
- ✖ 異なる文化的背景を持つ外国人保護者が日本の教育システムに関する情報や知識に乏しいことによる子供の**教育環境に対する意識の低さ**
→外国人生徒の高校進学率の低下（中学までのドロップアウト）が目立つ



出発点

国籍や肌の色に関係なく子供たちは日々成長発達します。
日本に生まれ育った子供たちが国籍に関係なく自分の夢を自由に描くことができるような環境づくりに何が必要か、それが**出発点**でした。

西尾市の多文化共生教育はじまり物語 **1** 事業開始！ **2008**

④保育園・幼稚園を所管する子ども課では、外国人育児家庭が保育園・幼稚園で安心して子育て・子育てができるための自律的支援を多角的に行う「多文化子育て支援事業」を企画しました。

⑤多文化子育て支援事業は、外国人児童の多い私立保育園に外国人児童コーディネーターを配置し、外国人育児家庭に対するアンケートや育児相談・就学説明会・日本語教室、就学前児童に対するプレスクール（初期指導教室）などを実施するもので平成20（2008）年度スタートを目指しました。

⑥新規事業のため財源確保として愛知県フレンドシップ継承交付金（補助率10/10。愛知県地域振興部国際課）を活用しました。平成20（2008）年度の当初予算額は4,500千円を計上しました。

⑦プレスクールの立案計画に際しては、外国人児童生徒数が全国一の愛知県が、平成18（2006）年度から県下で実施支援していたプレスクールの取組実践を参考にしました。

⑧最大の難関はコーディネーター探し。当初は人材派遣会社の通訳者の雇用を模索しましたが、教育的支援ができる人材発掘ができず絶望的だった中、人伝でJICAの青年海外協力隊員として2年間、ブラジルで日本語指導して帰国したばかりの女性を（奇跡的に）採用できました。
→人的資源の確保！

⑨平成20（2008）年度の8月までは、保護者アンケート、他市のプレスクール視察などにより、開設準備を進め、9月にプレスクールのPRや愛知県国際課からプレスクール教材を借用、11月に語彙調査を実施して12月から3月までプレスクールを開講しました。
→1年目は、語彙調査児童43人から抽出した15人がプレスクールを受講しました。

⑩多文化子育て支援事業が船出した平成20（2008）年はリーマン・ショックによる世界金融危機に伴う国内の雇用悪化から外国人の生活困窮者が多数発生しました。そのため外国にルーツを持つ子供の不就園・不就学の急増が非常に危惧されたことから、教育委員会では、岐阜県可児市のばら教室や知立市の早期適応教室の視察を踏まえて、平成21（2009）年度から次の2つの多文化共生教育支援事業を追加スタートしました。



⑪外国にルーツを持つ子供に対する就学支援事業（厚労省の就労支援関係の補助金活用）…不就園不就学調査を実施して就園就学のための学習支援を行う教室を市民団体に業務委託して運営しています。

➔ 多文化ルームKIBOU（きぼう）
（現在は社会福祉法人に業務委託）

⑫早期適応教室（プレクラス）…来日直後の児童生徒に3か月間、基礎的な日本語や生活習慣を指導する教室を小学校内に設置。県語学（ポルトガル語）相談員をヘッドハンティング（人的資源確保！）して開設にこぎつけました。



➔ 日本語初期指導教室カラフル

⑬平成21（2009）年度当時は2つのプレスクールを異なる事業として実施。多文化子育て支援事業による在園児に対するプレスクール（Z）と外国にルーツを持つ子供に対する就学支援事業による不就園児に対するプレスクール（F）です。現在は外国にルーツを持つ子供に対する就学支援事業（多文化ルームKIBOU）の中で2つのプレスクールが実施されています。

⑭平成21（2009）年度は、多文化子育て支援事業の外国人児童コーディネーターや早期適応教室指導員の自主企画に文化庁の補助金を活用して「日本語を教えるボランティアのためのスキルアップ研修」、「外国にルーツをもつ児童生徒のための日本語指導者養成講座」が実施されました。

⑮愛知県が平成21（2009）年10月に策定した『プレスクール実施マニュアル』検討会議の委員として外国人児童コーディネーターと子ども課担当者が参加しました。

⑯多文化子育て支援事業は、総務省の市町村の活性化新規施策100事例（平成21年度地域政策の動向）に選定。

- ⑰平成23（2011）年度に西尾市が幡豆郡3町と合併したときの機構改革により、子ども課は市長部局へ移管されましたが、3事業は教育委員会所管のままとして残されました。
- ⑱3事業はさまざまな紆余曲折はあったものの、令和元（2019）年度まで、教室を支える人材（人的資源）の孤軍奮闘に近い「たゆまぬ努力」により継続されてきました。



定着までの辛苦

- ① (園・学校)現場の無理解
→身近な味方の少なさ
- ② 保護者の母語保持と日本語教育に対する意識の低さ
- ③ 雇用条件の低さでスタッフの確保・育成・定着が困難
→知識経験の蓄積停滞

- ① 指導人材の継続雇用
- ② (園・学校)現場の理解者・協力者の出現
- ③ 子供の進路実現→就学支援・日本語指導の成果
- ④ 先達者・専門家との連携
- ⑤ 段階的な雇用改善
- ⑥ 教育委員会所管事業

継続できた要因

西尾市の多文化共生教育体制の概要について

令和元年度までは

~2019

就学
前
児
童

★**プレスクール**（福・せんねん村）平成20年度開始（多文化子育て支援事業）※県下16市町で実施
対象：公私立の保育園・幼稚園に在園または不就園の外国にルーツを持つ就学前児童（次年度に新1年生になる児童）のうち、語彙会話調査等の結果を踏まえて選抜するプレスクール受講が必要と思われる児童。令和元年度受講園児数44人・親子プレスクール参加数28組
内容：日本の小学校に円滑に就学できるように、言語面、生活面、学習面からの指導を行う。

5年間で**倍増**

小
学
生

◎**小・中学校** → 日本語指導が必要な児童生徒数527人（2019.5.1）
通常学級（日本語教室）・特別支援学級（通級） → 各校に**外国人児童生徒教育担当者**を配置
★**外国人児童生徒教育指導アドバイザー**（3人）と**通訳者**（2人）が各校を巡回して主として**通訳翻訳業務**を担う。5人はブラジル人（ポルトガル語）

5年間で**倍増**

中
学
生

★**早期適応教室**（鶴城小学校内）...平成21年度開始（**プレクラス**）※県下18市で実施
来日直後等の児童生徒を対象に学籍のある学校に定期的に通いながら最長3か月、学校生活に必要な基本的な生活習慣、日本語指導や教科学習の導入などを行う。令和元年度通室児童生徒数72人。指導員は4人（日本人・中国人・フィリピン人・ベトナム人）

過
年
齢

★**多文化ルームKIBOU**（アクティにしお3階）（福・せんねん村）平成21年度開始
（外国にルーツを持つ子どもに対する就学支援事業）

外国にルーツを持つ子ども（5～18歳）のうち、不就学、不就園状態である子どもに対して就学・登校・学習支援を市が社会福祉法人に委託して行っている西尾市教育委員会独自の取組み。不就学・不就園クラスのほか小中学生・過年齢の日本語クラス、多言語サポート、母語保持教室、就学説明会を実施。令和元年度通室児童生徒数193人
スタッフは10人（日本人・ブラジル人・中国人・ベレー人・インドネシア人）

5年間で**3倍増**

就学前児童

★プレスクール（福・せんねん村）平成20年度開始（KIBOUの事業に抱合）※

対象：公私立の保育園・幼稚園（1年生になる児童）のうち必要と思われる児童。令和2年度からは、外国にルーツを持つ児童等の結果、市広報2年12月号の表紙～P11で特集記事



に新講が

多文化共生教育
スーパーバイザー

DLA（対話型アセスメント）
導入

小学生

★日本語初期指導教室カラフル（鶴城小学校内）平成21年度開始

来日直後等の児童生徒を対象に学籍のある学校に定着させるための日本語指導や教科学習の導入などを行う。
→新設する日本語教育指導アドバイザー兼日本語初期指導教室長（1人）が日本語教育指導支援員のマネジメントを行うとともに日本語教育指導力向上のための多岐にわたる研修を実施。

★新設する日本語教育指導支援員10人（ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・ベトナム語・中国語・英語）はカラフルと学校を巡回して、日本語指導支援業務と保護者相談の通訳業務を行う。

★ボ語が話せる外国人児童生徒教育相談員（1人）は学校教育課で電話相談や通訳業務を行う。

日本語教育指導
スーパーバイザー

中学生

★多文化ルームKIBOU（アタテ）

対象：外国にルーツを持つ（18歳）のうち、日本語が話せない児童生徒。令和2年度からは、外国にルーツを持つ児童生徒の増加に伴い、多文化共生教育の推進を図るため、多文化ルームKIBOU（アタテ）を開設し、日本語指導や教科学習の導入などを行う。

カラフル YouTube 公式チャンネル
開設

多言語翻訳通訳
業務の見直し



過年齢

- 土曜日にベトナム語母語教室を、日曜日に親子プレスクールと大人の日本語クラスを通年実施
- オンライン（ZOOM）による学習支援教室「あいうえお240（にしお）」を大学と連携して実施
- 学校生活で使う日本語の多言語翻訳用語集『がっこうのことば』を編集し小中学生家庭に配付

ご清聴ありがとうございました

西尾市の取組は10年余の歳月を重ねてきましたが、未だに坂の上の一朶の白い雲を見つめて、右往左往しながら登っていく中途にあります。しかし、言葉の壁という理由だけで子供たちが日本社会で夢をあきらめることのないよう、坂の上の輝きを信じて、教育委員会がたゆみない歩みを決して止めないこと、それが肝要だと考えてきた自分は本年4月に学校教育課から生涯学習課に異動しました。令和3(2021)年8月



西尾市の特産品である抹茶をイメージした観光マスコットキャラクター「まーちゃ」です



西尾市教育委員会 事務局 生涯学習課 課長 鈴木 貴之

あいち地域多文化コーディネーター

Suzuki Takayuki



👉日本語
初期指導
教室カラ
ルのHP



👉多文化
ルーム
KIBOU
のHP

〒445-0864

愛知県西尾市錦城町162-14

TEL:0563-55-3515 (直通)

FAX:0563-56-7737 (直通)

E-mail tk-suzuki@city.nishio.lg.jp

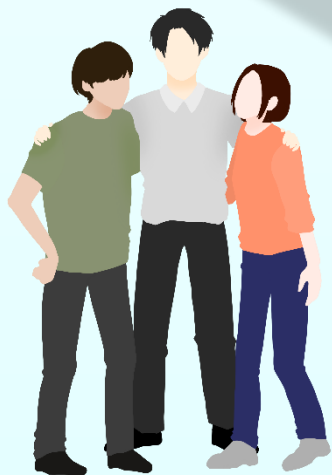



西尾市では、令和3年6月1日に 子ども・若者総合相談センター「コンパス」 を開設しました。担当は、教育委員会事務局生涯学習課です。

※コンパスは官民連携（市が一般社団法人に業務委託）により運営しています

コンパスは、**不登校**や**ひきこもり**
など様々な悩みを抱える子ども・
若者とその保護者などからの相
談に対する**包括的な支援をワン
ストップで行うセンター**です。

- 市内在住在学の概ね**15歳
～39歳**（外国人もOK）
- **利用無料** ● **秘密厳守**




西尾市中央ふれあい
センター3階に開設した
子ども・若者
総合相談センター
コンパスの詳細は
HPから 



※様々な悩みを抱える子ども・若者が前へと進むお手伝いをし、彼らが迷ったときにはいつでも近くで支えられる、彼らにとっての羅針盤（コンパス）のような存在であり続けたいという思いからコンパスと命名しました。



● コンパスの**支援内容**
相談（LINE相談  実施中）・同行・訪
問・地域交流・就労・
学習・居場所・家族会など



● コンパスの**特色**
ひきこもりや不登校に限らず、進
路や就職への不安など、「こんなこ
とを相談してもいいのか」「どこに
相談していいかわからない」と
いった、行政
のはざままで
切り捨てられる
幅広い悩みを
受け付けている
ことです！



多文化ルーム **KIBOU** の取組

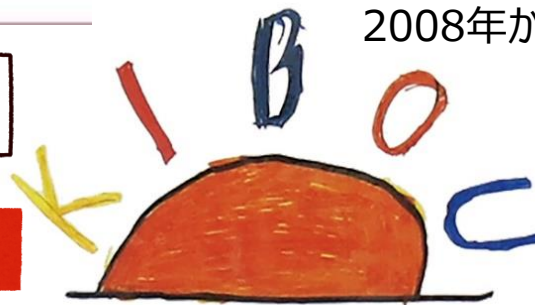
5～18歳までの子どもを支えるために

多文化ルームKIBOUの多彩なクラス

クラス	対象
不就園クラス	保育園・幼稚園に通っていない5歳児
不就学クラス	学校に通っていない6歳～15歳
週年齢クラス	学校に通っていない主に15歳～18歳
小・中学生クラス	小・中学校に通っている子
母語教室	希望する子
プレスクール	5歳児
親子プレスクール	5歳児とその保護者



多文化ルームKIBOU
多文化共生教育
コーディネーター
川上 貴美恵
(社会福祉法人せんねん村)
愛知県西尾市出身
2005年～2007年
JICA日系社会青年ボラン
ティア 日本語教師
ブラジル・サンパウロ州
2008年から現職



多文化ルームKIBOUとは

西尾市教育委員会では、平成20(2008)年度から、保育園・幼稚園に在園または不就園の外国にルーツを持つ就学前児童に対して、小学校に円滑に就学できるように言語面を中心に指導を行うプレスクールを、多文化子育て支援事業として社会福祉法人に業務委託して実施してきました。

また、平成21(2009)年度から、外国にルーツを持つ子供のうち不就学・不就園状態である子供に対して、就学・登校・学習支援などの多文化共生教育の取り組みを、外国にルーツを持つ子供の就学支援事業として、社会福祉法人(13年度までは市民団体)に業務委託し、「多文化ルームKIBOU」で実施してきました。

令和2(2020)年度から、プレスクール(多文化子育て支援事業)を外国にルーツを持つ子供の就学支援事業と一体化して、外国にルーツを持つ子供(5歳~18歳)に対する教育支援につながる様々な取り組みを、社会福祉法人に業務委託して多文化ルームKIBOUで実施しています。



KIBOUは公共施設「アクティにしお」の3階にあります

外国人保護者にとって、子どもを就学・通学 進級・進学させるために払拭したい疑問はいっぱい！

親は日本語がわからない、どこで情報もらえるの？
日本語が分からない子どもは、1年生からやるの？
学校は、何時まで？親が送迎するの？
何月から入れるの？
いくらかかるの？どうやって払うの？
保育園と幼稚園って何がちがうの？
持ち物って、どこで買うの？いくら？
親は、なにをすればいい？
日本での学校経験はないけど、
高校進学はできるの？



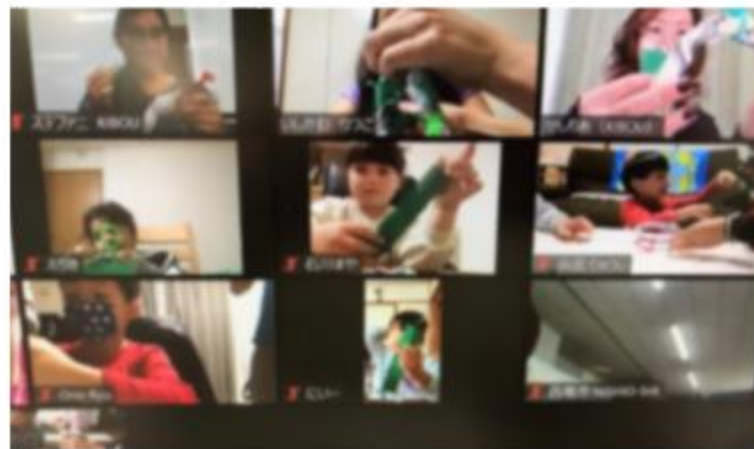
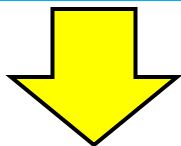
KIBOUが実施していること I

☆多言語による
就学説明会

☆不就園児の
プレスクール

☆在園年長児の
プレスクール

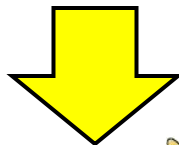
☆おやこプレスクール



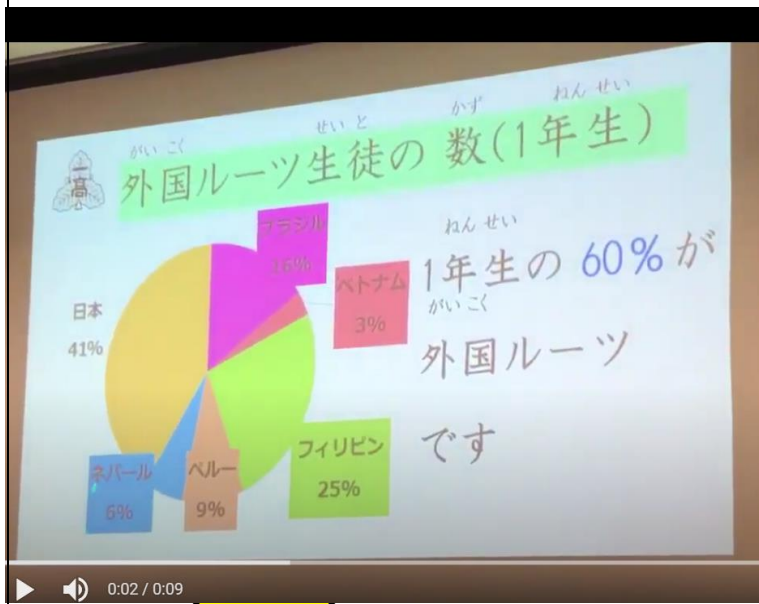
KIBOUが実施していること II



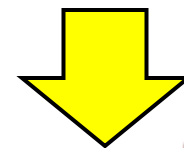
- ☆不就学調査
(家庭訪問)
- ☆不就学クラス
- ☆小・中学生
日本語クラス
- ☆母語クラス



KIBOUが実施していること Ⅲ



☆定時制見学会(共催)
☆学齢超過の子ども対象
の過年齢クラス



KIBOUが実施していること IV

☆多言

5~18歳という
子どもの年齢をカバーしているから、
学校に直結していても、していなくても、
教育的なサポートを展開できる。
教育委員会委託だから、
保育・教育関係者との連携がとりやすい。



KIBOUの特徴的な活動 《プレスクール》

就学前の
外国につながる子どもに
日本語指導を中心とした
初期指導を
おこなうプログラム。

内容は、主に学校生活に必要な
語彙、ひらがな、ひらがなでの名
前書き練習、数量、文房具、ルー
ルのある遊び、工作

目的は、子どもとその保護者を就学において
力づけること。就学先小学校との連携によって
スムーズな受入れをめざす。



令和2（2020）年度にKIBOUが実施した 3つのプレスクール

在園年長児のプレスクール

場所は、子どもの所属園
（平日の昼間、週1回、保育時間内）
指導員が子どもの園を巡回訪問



就園していない5歳児のプレスクール

場所は、多文化ルームKIBOU
（火曜～木曜、午前9時半～12時）
保護者の送迎



週末のおやこプレスクール

親子は、ZOOMで自宅から参加。
週1回、1時間、10月開始
月1回、KIBOUにて教材受け渡しと面談



在園年長児のプレスクール

【令和2年度 実施の流れ】

- 9月 対象候補リストアップ
園長会で説明
- 11月 語彙調査（巡回訪問）
- 12月～ プレスクール（巡回訪問）
- 2月 小学校教諭見学月間
- 3月 プレスクール終了
アンケート実施

在園児は、給食や外遊びなどの経験があり、毎日の生活リズムも整っていることが多いのが特徴です。

令和2年度は就園期間の短い子ども限定で開催しました。

在園児へは、絵本や楽しい活動を通して、ひらがなや数量に親しめるようにしています。独自に作成したワークブックをしゅくだいとして持ち帰り、保護者といっしょに取り組めるように、指示語は多言語です。



就園していない5歳児のプレスクール



【1コマの流れ】

身支度（上着、帽子をぬぐ）

あいさつ

今日やることの確認

カレンダー、天気

体操

絵本などを使って文字や

数量の練習

おやつ体験

工作や外遊び

片付け

おわりの挨拶

*生活の乱れ
*運動不足
*遊びが不十分
*季節を感じる活動を知らない
*和風の味付けになじみがない
などの特徴がみられるので、子どもらしく元気に過ごしながら、日本語表現やひらがなを覚えていけるようにしています。

週末のおやこプレスクール

【令和2年度 実施の流れ】

9月 外国にルーツをもつ子どもの家庭へ、
おやこプレスクールを案内・申込受付
☆教材受取、子どもとの面談はKIBOUにて、
毎月1回開催。

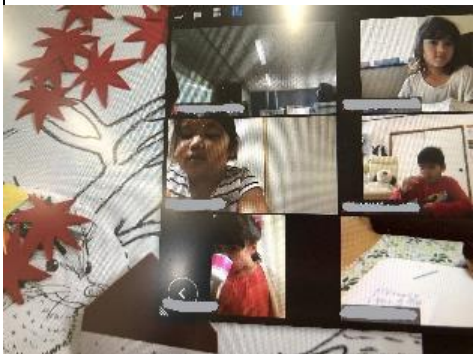
10月 開始 ※42組参加、
3クラス開催

土曜 13:00~14:00

日曜 11:00~12:00

13:00~14:00

3月 終了



プレスクールの効果

☆子どもの日本語学習がすすむ

- 名前が書けるようになる。ひらがなを覚える。
- できることが増え自信が付き、積極的に参加できるようになる。

☆保護者をカづける

- 小学校についての情報提供
- プレスクールを通じて自宅学習への参加

☆就学先へ情報提供ができる

- 子どものプレスクール参加態度などを参観できる。
- 家庭の状況、協力的かどうかなどの姿勢が見える。
- どの言語、どういう表記方法で連絡が取れるかがわかる。

コロナ禍の緊急支援 オンラインフル活用！

その1. 『あいうえお240(にしお)』

小中学校の臨時休校中、子どもたちとのつながりを絶たないために実施したオンライン日本語会話。

愛知淑徳大小島ゼミと日本語初期指導教室カラフルとのコラボで実現。2020年5月上旬から末までは、月曜以外毎日開催。その後を引継ぎ、KIBOUで12月まで、毎週末土日開催。

その2. YouTubeで『就学案内の動画公開』



KIBOUの
You Tube
チャンネル

行事ができない、人を集めることができない状況下、なんとか行事の代わりになるものを届けようと作成。ときや場所を選ばず、スマホがあれば、多言語の就学案内が可能。ポルトガル語やタガログ語、7言語に対応。



コロナ禍の緊急支援 オンラインフル活用！

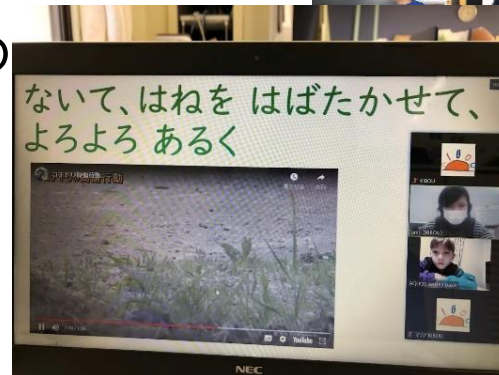
その3. 『おとなのほんご』

不就学調査のための家庭訪問をしている際、雇止めや失職している保護者の多いことがわかり、外部講師を招いて実施。



その4. 緊急事態宣言中は、原則『全クラス・オンライン』

個別の対応が必要な子ども以外は、年齢にかかわらず、全クラスオンラインに挑戦。教材などはオンライン用に作り直し！通信環境のない家庭は、無料Wifiのある場所へ移動して参加するなど、各家庭で工夫。




2年度に**がっこうのことば**（多言語用語集）を発行！

日本の小学校・中学校でよく使う独特な言葉を、学校が配布する一年間のおたよりなどから抽出・分類・整理し、**7か国語（ポルトガル語・スペイン語・タガログ語・ベトナム語・インドネシア語・中国語・英語）**で翻訳しました。

日本語初期指導教室カラフルの日本語教育指導支援員など、多言語での支援をしている方々と作成。イラストや写真を多用し理解力向上を目指しました。2年度は希望する外国人家庭に紙で配付、3年度は改訂版を発行し、ウェブサイト(市・カラフル・KIBOU)からの閲覧利用を案内する文書を外国人家庭に配付して周知。



 **がっこうのことば**
はここから
(西尾市HP)

みんなの あたりまえを
実現するために
途切れないサポートをめざして
私たちは力をそそぎます。



社会福祉法人せんねん村

多文化ルーム **KIBOU**

TEL **0563-77-7457** (月曜日はお休み)

Fax 0563-77-0046

E-mail tabunka.room.kibou.2014@gmail.com

〒445-0837 愛知県西尾市鶴ヶ崎町6-2

アクティにしお (3階)